

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 王司

目標達成計画書

作成日: 令和5年4月13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	運営推進会議を活かした取り組み	コロナ禍の中、書面会議が続いている。コロナ収束後の対面での会議再開に向けて、参加委員の増員を図り、会議内容の充実に向けて検討し取り組んでいく。	コロナ収束後の対面での会議再開に向けて幅広く委員を募り、薬剤師や歯科衛生士、元家族、他グループホーム管理者等に声をかけていく。また、薬や口腔ケア等についてミニ勉強会を行ったり、地域の課題について話し合う等、ホームと地域、双方の発展に繋がる開かれた会議を目指していく。	12ヶ月
2	2	事業所と地域とのつきあい	コロナ禍の中での開設であったため、地域との関係作りもこれからである。コロナ収束後に向けて、少しずつ準備をして信頼関係を築いていく。	コロナ収束後には、地域の活動や行事の情報を得ながら参加できるものには参加して関係を築いていく。また、広いスペースを活かしてボランティア受け入れ等も積極的に行っていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。